

鶴が丘だより

2017年度第2回
病院家族教室・講演会

対話による

良いかかり方

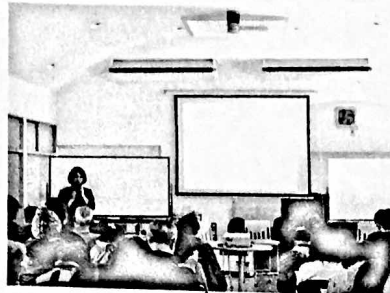
西池絵衣子先生

今月は、2月24日に開催した講演会の模様をお送りします。今回は、慶應義塾大学看護医療学部西池絵衣子先生に講演いただきました。

【西池先生のご紹介】

看護大学卒業後、病院や訪問看護での勤務を経て、現在は看護学部の教員として活躍されています。また海外で行動しているオーストラリアの研究を行っています。

こんにちは。今日はフィンランドに行き、実際に学んだオープンダイアログについてお話しします。



気持ちが伝わらない
見通しが見えない
誰と相談すればよいかわからない
コミュニケーションの難しさ

話す意欲や受診行動の低下
何かあった時の責任感や負担感
解決できない問題への葛藤

臨床指導で病院へ行く機会があり、その中で医療者へ「気持ち」が伝わらない「相談」しづらさを感じます。医療者自身も「見通し」がつかない「いつまで治療を続けるのか」等の心配があります。精神疾患の特性として、症状が作用し、伝えることが難しい「理解」していることも対応が難しい「シ」の難しさもあります。

●北欧と日本の医療のちがいは

日本の精神科医療と枠組みが異なります。ラップランドは、気温-12度で白夜がありアルコール依存症やうつ病などが多く自殺率も高い地域です。地区ごとに家庭医を配置し、内科・歯科・精神科も1名の医師が診療します。つまり、必要時に専門医につなげる仕組みです。また、外来診療では基本的に60〜90分の診察を行っています。また、精神科医療は無料で実施しています。私が行ったケロプダス病院は、元々300床でしたが、現在は29床で、入院期間は9日間です。外来は全く訪問診療のみを行い、チームに分かれて行っています。

ラップランド

人口：約4万人

- 人口は約12,000人。人口密度が低い。
- 6つの自治体がある。この自治体で働くスタッフは約1,000名である。
- 精神科医療は、ケロプダス病院、成人外来クリニック、児童クリニック、高齢者のクリニックの4つで構成されている。
- 近年特に外来に力を入れている。(約11,000件/年)
- 診察時間は11分〜15分/1時間
- 平均入院日数は約10日/年(フィンランド全体の平均は34日間)
- 精神科医療の医療費は無料。

ケロプダス病院

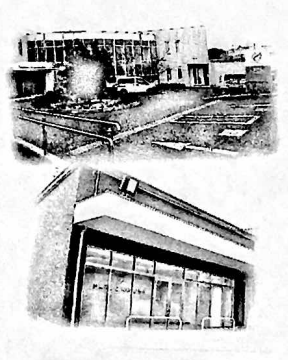
診察室のない外来
病床：35床

ある日の
鶴が丘

新年度がスタート
しました。



病院の桜も満開となり、新年度を迎えました。鶴が丘だよりをはじめ、ブログなどで様々な情報や近況をお伝えして参ります。ぜひご覧下さい。今年度も宜しくお願い致します。
編集委員一同



●対話とは

一般的に「人とのやりとり」を指しますが、フィンランドでは「一緒に考えていくこと」を指し、その時

●オランダダイアログ

開かれた対話は、

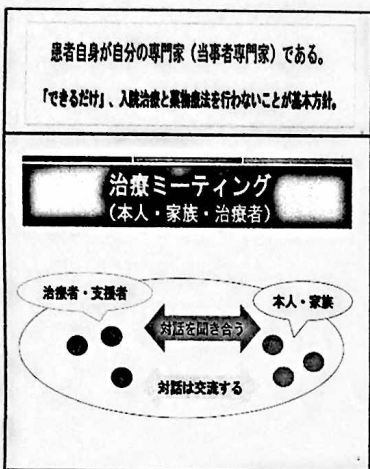


Table with 3 columns: ① 不確かさの寛容, ② ソーシャルネットワーク, ③ ポリフォニー

を、大切にしています。

●伺うことの大切さ

東京都は救急の際、当番病院へ搬送されるため、治療関係を1から作るエネルギーが必要となります。



生活の場面に出口と、支援者が生活環境や住居の様子などを知る事ができ

●実際の取組み

支援者が2名以上おり、支援者が感じ考えたことを患者様やご家族様にも聞いてもらうようにしています。

●実践のための12項目

- ① ミーティングは2人以上のセラピスト、クライアント、家族とネットワークメンバーが参加する。

次号へつづく 文責 高野

医療法人社団 鶴永会

鶴が丘ガーデンホスピタル TEL:044-988-3121 東京都町田市三輪緑山2-2133-1

お知らせ

平成30年度診療報酬改定に伴い、患者様により会計時のお支払い額が変更される場合がございます。

今月の...

いろはカルタ

思い過ぎは心の重荷

ぐっすり眠れば 気力充実